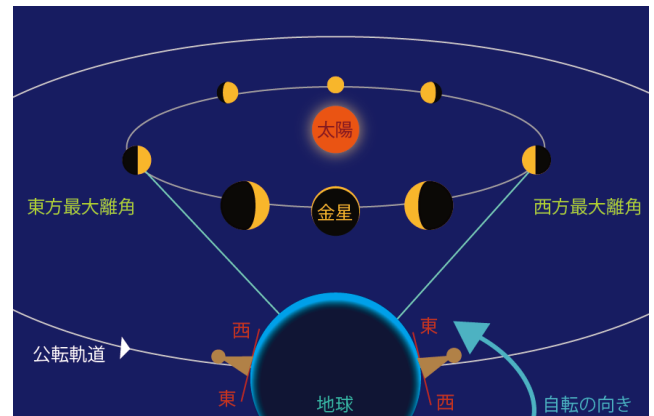




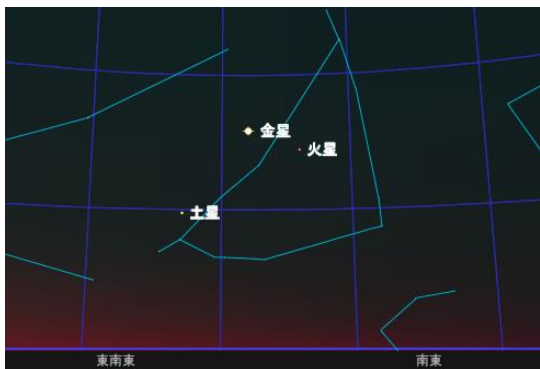
## 明けの明星

金星はとても明るく輝いて見える惑星で、明星とも呼ばれます。今の時期、金星は明け方東の空に見ることができ、「明けの明星」と呼んでいます。2021年9月には「宵の明星」という記事が出ていましたが、みなさん読んでいただけたでしょうか。金星は2021年の年末までは西の空で観察することができました。帰り道、もう夕方だなあ。と太陽の沈む方向に目を向ければ、何となく見つけてしまえるぐらい見つけやすかったのですが、段々と位置を変え、今では東の空から太陽よりも先に昇ってきています。この金星を見るためにはいつもより早起きが頑張らないといけません。



金星の見え方。地球から見て太陽の西側に金星があるとき、明け方東の空に金星が昇ってくる。  
※国立天文台の画像を元に作成。

明るさは、マイナス4等級です。このまま、9月ごろまでは明けの明星として東の空で見ることができます。3月20日には太陽から最も離れた西方最大離角となり、望遠鏡で観察



2022年3月21日 5:00 金星・火星・土星がやぎ座の位置に見える。

ステラナビゲーターによるシミュレーション

すると月のように欠けた金星を見ることができるようかもしれません。

そして、明け方の空には金星以外にも惑星が昇ってきています。左の図のように金星のそばには火星が、そして3月の下旬には金星と土星が最接近します。惑星を見つける目印として明けの明星が役に立つことでしょう。

(解説員: 松本 萌)